



日本車輸出コンテナ輸送

- 本社所在地：茨城県つくば市下河原崎 2 5 3 - 1（仮換地番）上河原崎D 8 - 4
- 事業概要：日本車輸出に関する国際物流・貿易サービス事業
- 常時使用する従業員：10名（2026年3月時点）
- 現在の売上高：11億円（2025年12月期）
- 法人番号：8020001124895
- Web：https://fjcanvas.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
テアティア・バビリ

日本車の価値を世界へ届ける国際物流

当社は、日本の優れた自動車を世界へ届ける国際物流企業として、安全で透明性の高い輸送サービスを提供し、信頼と顧客満足を大切に国際物流ネットワークの構築に取り組んでいます。今後は、日本車輸出物流DXの高度化とGX志向型物流拠点の整備を進め、国際モビリティ物流DXハブ事業として売上高100億円規模の企業成長を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2034年に売上高100億円の達成を目標とし、日本車輸出物流DXハブ事業の拡大とGX志向型物流拠点の整備を通じて、持続的な企業成長を実現します。輸出車両の取扱量拡大と国際物流機能の高度化を図り、日本車輸出物流分野における中核企業としての地位確立を目指します。

課題

- ① 日本車輸出物流の取扱量拡大（主にインド・パキスタン等の南アジア中心）
- ② 日本車輸出物流DXネットワークの構築
- ③ GX志向型物流拠点の整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

当社は10,000坪の物流ヤードを活用し、日本車輸出を支える国際モビリティ物流DXハブ事業を構築します。太陽光発電設備などを導入したGX志向型物流拠点として、輸出車両の保管・集約・輸送を一体運営し物流効率を向上させます。さらに保税蔵置場・保税運送制度の活用と海外販売ネットワークの拡大により、日本車輸出ビジネスを拡大し売上高100億円規模の企業成長を目指します。

実施体制

代表取締役を中心に、地方自治体や地域金融機関と連携して事業を推進します。また、日本車輸出物流DXネットワークの構築やGX志向型物流拠点の整備については、外部専門家（物流メーカー・ZEBプランナー等）と連携しながら事業を展開します。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現の目標

当社は日本車輸出物流の取扱台数拡大と、10,000坪物流ヤードを活用した国際モビリティ物流DXハブ事業の構築により、事業規模の拡大を図ります。GX志向型物流拠点の整備や保税物流制度の活用、海外販売ネットワークの拡大を進めることで輸出物流機能を強化し、2034年に売上高100億円規模の企業への成長を目指します。

